

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ8 とともに生き、支えあう地域社会づくり
-----------	------------------------

	二次評価意見	県の対応
総合分析の妥当性等		
1	<u>総合分析は概ね妥当である。</u>	
2	「県の将来像に対して、6割以上の方が支え合う地域社会になっていないと考えており、」という記載に対して、示されたグラフがそれを直接表していないように思われる。より適切な図表があればそれを示した方がよい。	白書の「総合分析」に、グラフとの関連が分かりやすくなるような記述を加えます。
新たな政策課題		
3	なぜバリアフリーについてだけPDCAサイクルの継続的实施が今後の課題なのか。他のものについても、PDCAサイクルが求められるのではないか。	事業実施の中で対応を検討します。
目標設定の課題		
4	<u>目標</u> は、地域福祉コーディネーターの過去の研修会参加実績等を基に目標値が設定されているようだが、 <u>人材養成に係る目標設定は、利用者のニーズに応じた目標とするなど工夫するべきである。</u>	点検の中で対応を検討します。

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ9 り	高齢者が安心してくらするしくみづく
-----------	----------	-------------------

二次評価意見		県の対応
総合分析の妥当性等		
1	総合分析は概ね妥当である。	
新たな政策課題		
2	<u>介護を苦にして自殺するようなケースを増やさないよう、介護をする家族への身体的精神的負担を直接軽減させる対策も必要である。</u>	点検の中で対応を検討します。
目標設定の課題		
3	目標 の設定の考え方が分かりにくいので、より説得力のある数値目標を検討されたい。	点検の中で対応を検討します。

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ10 障害者の地域生活を支えるしくみづくり
-----------	-------------------------

	二次評価意見	県の対応
総合分析の妥当性等		
1	<u>総合分析は概ね妥当である。</u>	
2	目標の達成状況の分析欄にある「障害特性から対応の難しさが指摘されている分野」の内容を具体的に記載する必要がある。	白書の「目標の達成状況の分析」に、障害特性から対応の難しさが指摘されている分野の内容を具体的に記載します。
3	C,Dランクなど目標値と大きく乖離している項目については、その原因をもう少し深く分析し、謙虚に記載する必要がある。目標に達しなかったことを重く受け止める姿勢がみえず、軽く見ていると思われる。	白書の「目標の達成状況の分析」の原因及び対応についての記述を、もう少し詳細にします。
4	<u>障害者の支援は公的機関のみでは不可能であり、NPO等の民間との協働が不可欠であるため、白書に明記するとともに、より一層連携を図る必要がある。</u>	白書の「今後の課題と対応方向」の項目内において、NPO等と協働していくことを記述します。
新たな政策課題		
目標設定の課題		

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ11 安心してくらせる地域保健・医療体制の整備
-----------	---------------------------

	二次評価意見	県の対応
総合分析の妥当性等		
1	総合分析は概ね妥当である。	
2	救急医療体制の整備については、量的充足度だけでなく、地域別の充足度も考慮すべきではないか。	事業実施の中で対応を検討します。
3	一次評価は概ね妥当だが、がん検診率や特定健康診断率の低さを明記して、課題があることも記載する必要がある。これを通じて県民に対して、受診の必要性をアピールできるのではないか。	白書の「今後の課題と対応方向」の項目に、がん検診の受診率の現状を加えました。
新たな政策課題		
4	高齢化とともに死亡者数は年々増加しているが、その一方で神奈川県は人口当たり病床数が低い県の代表でもある。今後は在宅で死を「安心」して迎えるとの視点に立った医療体制の構築が必要である。	事業実施の中で対応を検討します。
目標設定の課題		
5	がん診療連携拠点病院や救命救急センターの目標値は既に達成でき、また今後この数値が低下することも考えられないので、他の項目を設定する必要がある。「がんへの挑戦・10か年戦略」の中にあるように、がんの年齢調整死亡率やがん検診受診率がよい。	点検の中で対応を検討します。

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ12 保健・医療・福祉人材の育成・確保
-----------	-----------------------

	二次評価意見	県の対応
総合分析の妥当性等		
1	総合分析は妥当である。	
新たな政策課題		
目標設定の課題		
2	目標（介護支援専門員現任者研修の修了者数）については、参加実績や研修ニーズではなく、対要介護高齢者数の比率に基づいて目標値を設定すべきである。	点検の中で対応を検討します。